

口は健康のもと Vol.181

口腔機能低下症とは 早めの対応で健康長寿

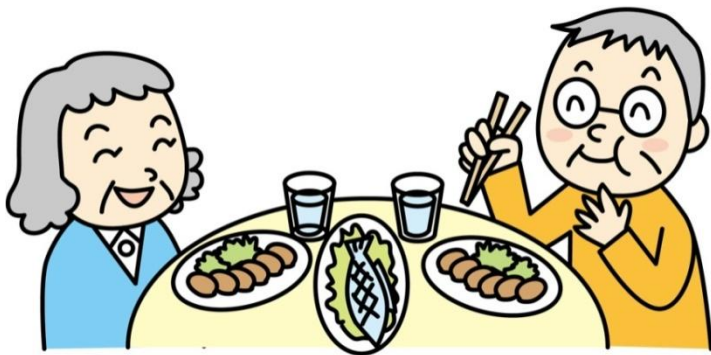
身体機能の低下に伴い、口の機能も低下していきます。わずかな機能低下から病的な障害に至るまで三段階に分けられています。

わずかな機能の低下は「オーラルフレイル」と呼ばれ、滑舌低下、わずかなむせ、食べこぼし、かめない食品の増加がみられます。

次の段階が「口腔機能低下症」です。これは噛む力の低下、食べ物をすりつぶす力の低下、飲み込む力の低下、口の中の乾燥、口の中の不潔、舌や唇を動かす機能の低下、舌の力の低下がみられます。これらは歯科で対応しており、舌の力、唾の量、滑舌の速さ等を測定することで、数値化して評価することが特徴です。

さらに機能低下が病的に進んだ段階を「口腔機能障害」といいます。これは食べる、飲み込むが加齢変化以上に悪くなる摂食嚥下障害と、食べ物をすりつぶして飲み込みやすい形にすることが難しくなる咀嚼機能不全にわけられます。口腔機能障害は専門的な対応が必要となります。

オーラルフレイルや口腔機能低下症の段階で早めに対応することが、健康長寿を保つ秘訣といえます。気になる症状のある方は、歯科でご相談ください。



奥羽大学歯学部附属病院

地域医療支援歯科 准教授 鈴木 史彦

